

# 金融機関での「オペレーショナルリスク」管理

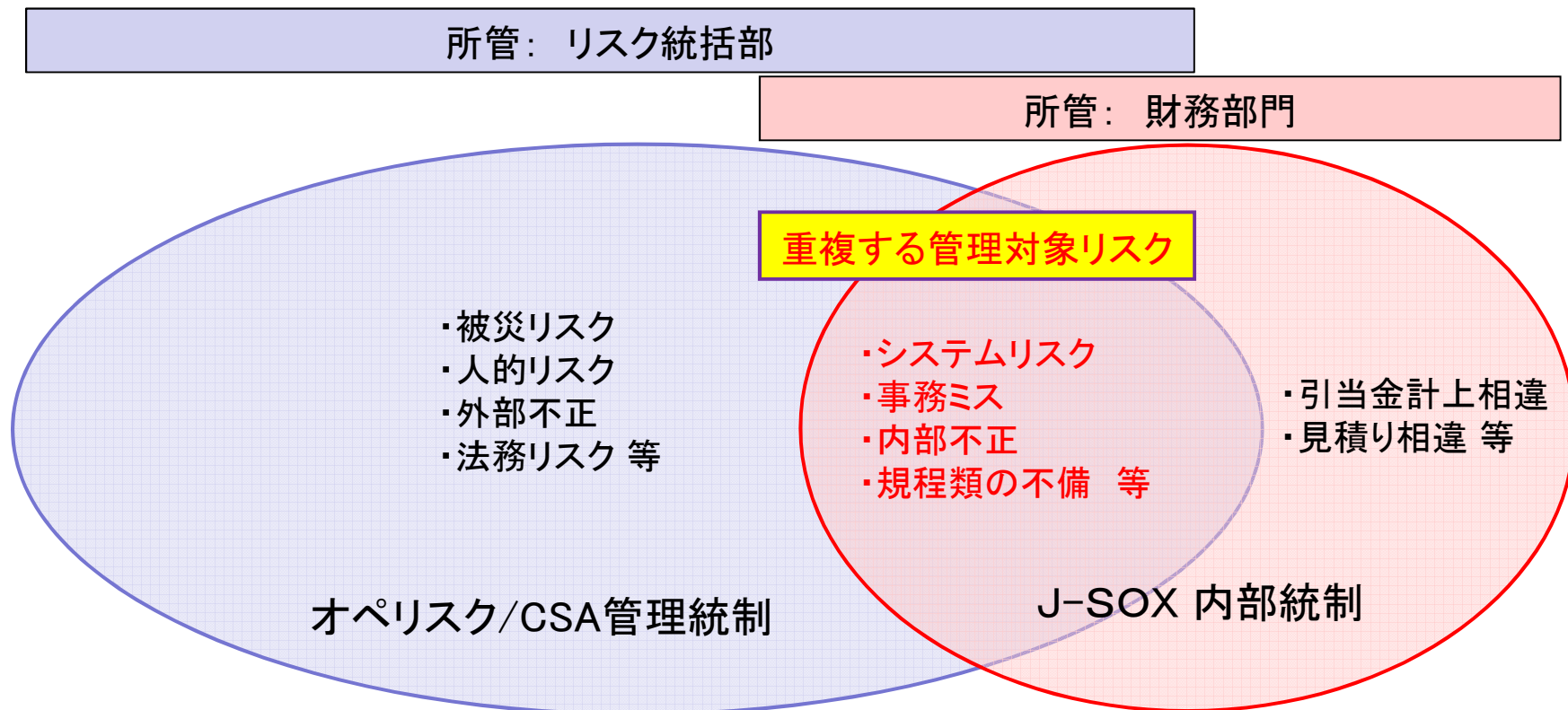
株式会社アイグラフィックス

## 目次

- (1) 現状の課題認識
- (2) 統合リスク管理がもたらすコスト効果
- (3) iGrafx による統合リスク管理の概要
- (4) iGrafx 導入による効果 -リスク管理の正確性と効率性の向上-
- (5) iGrafx 導入による効果 -業務の見える化と電子マニュアル-
- (6) 要件に合わせた柔軟な出力
- (7) Excelで作成された内部統制文書の取込み
- (8) iGrafx の構成

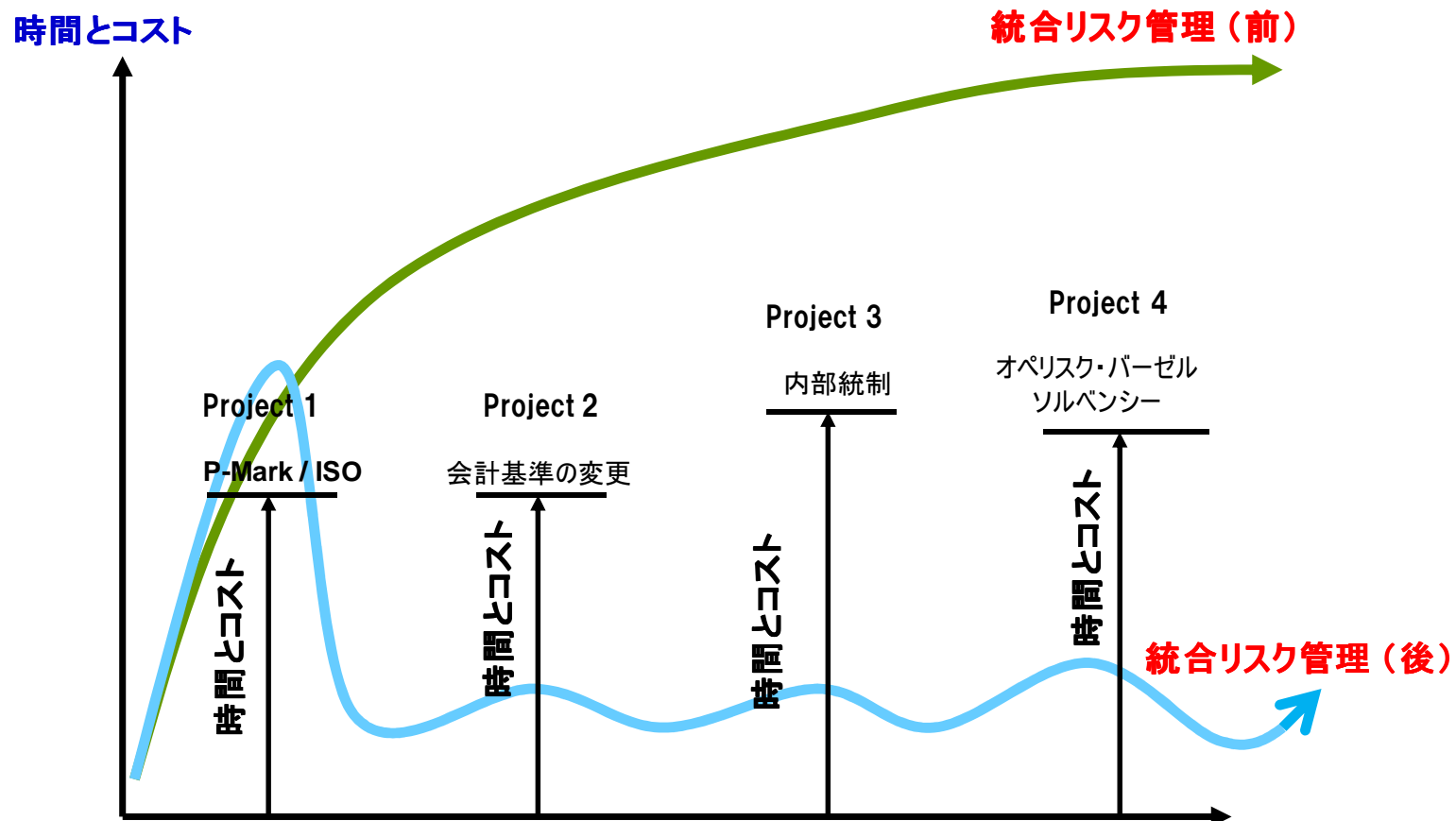
## (1) 現状の課題認識(オペリスクと内部統制の重複管理)

- 一般的に金融機関では異なる組織でオペリスク/CSAと内部統制を統括しています。これにより個別にリスクが管理されるケースが多く、各部署や営業店の現場ではリスクに対する管理作業の重複が起こり、結果として統合性に欠けコストや人的資源の負荷が生じています。
- 加えて、管理範囲が拡大しているため、潜在するリスクを正確かつ網羅的に把握できておらず、リスクへの対応が不十分になっている可能性があります。



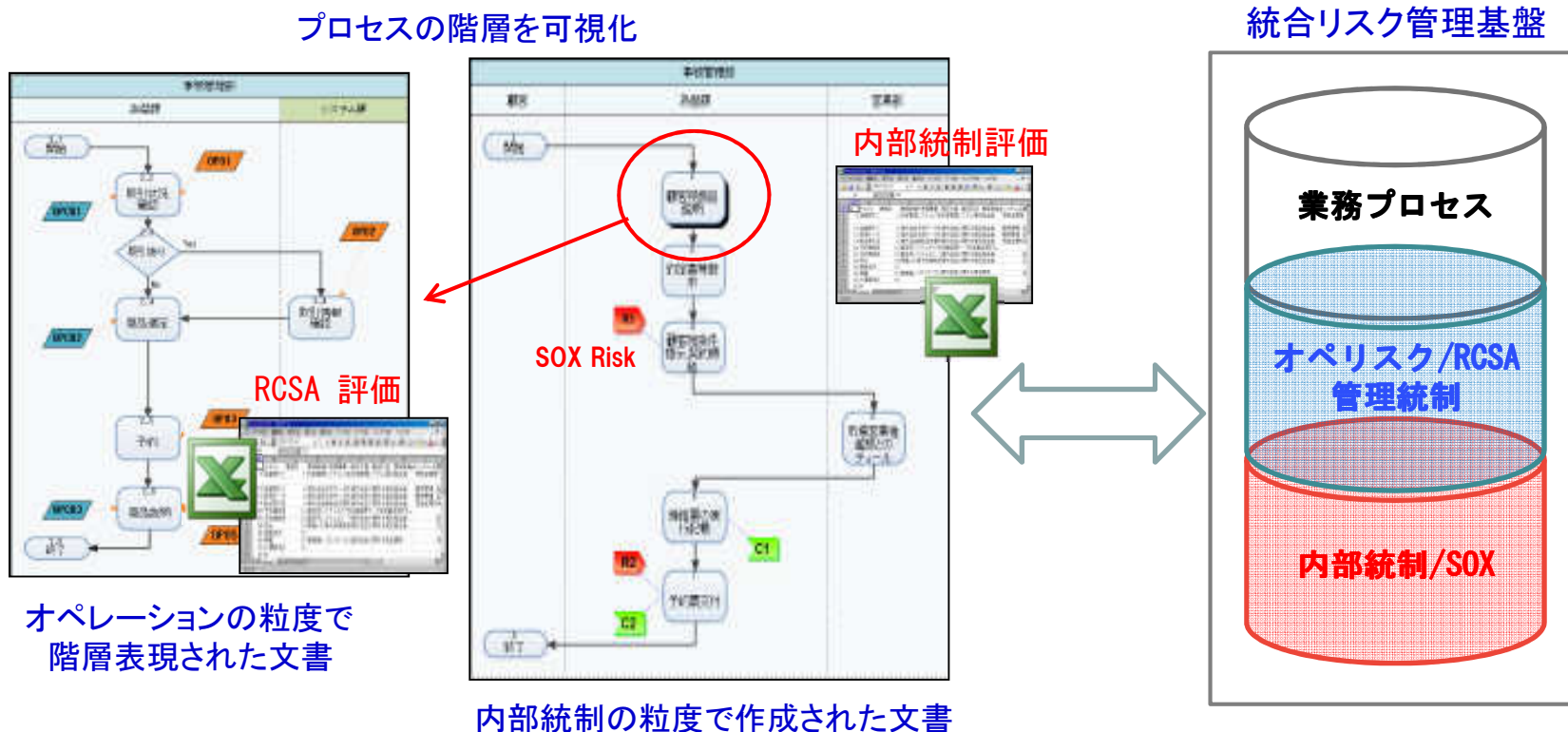
## (2) 統合リスク管理がもたらすコスト効果

- iGrafxでは、特にSOX内部統制とCSAなどのオペレーショナルリスク管理統制を個々に対応するのではなく、統合的に行うリスク管理ソリューションです。管理を一元化することで、リスク認識の正確性と網羅性を確保しながら対応コストを削減し、企業内のコンプライアンスと業務プロセス改善の環境基盤を構築します。



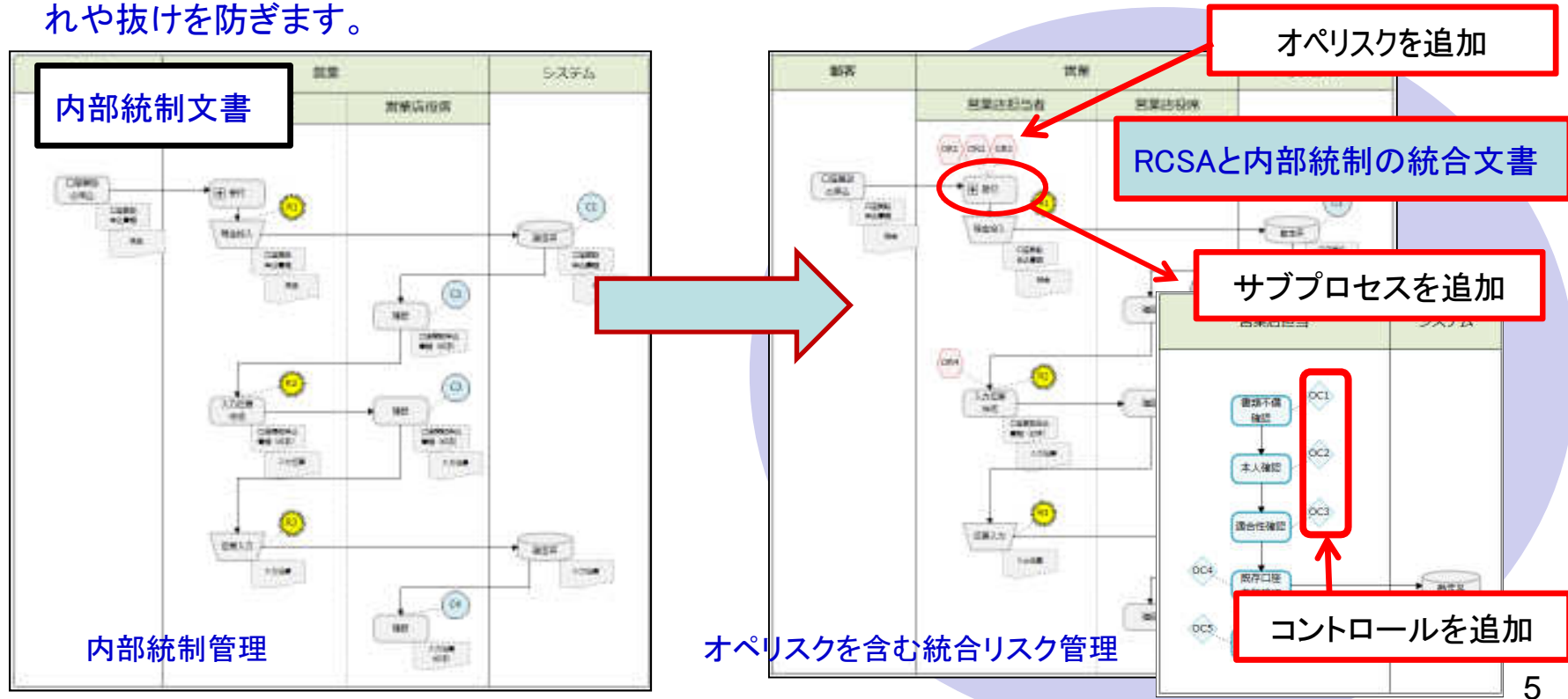
### (3) iGrafx による統合リスク管理の概要

- iGrafx はCSAを目的としたオペレーショナルリスク管理と内部統制管理を個別に行うのではなく 共通の業務プロセスモデルを利用し統合的に管理を行います。
- 業務プロセスの書き直しやリスクの重複定義を排除し効率的に管理することで、コストや人的資源の無駄を省き、リスクの網羅性と正確性を向上させます。
- 結果的に企業内にリスク統合環境を構築しコンプライアンスの基盤環境が構築できます。



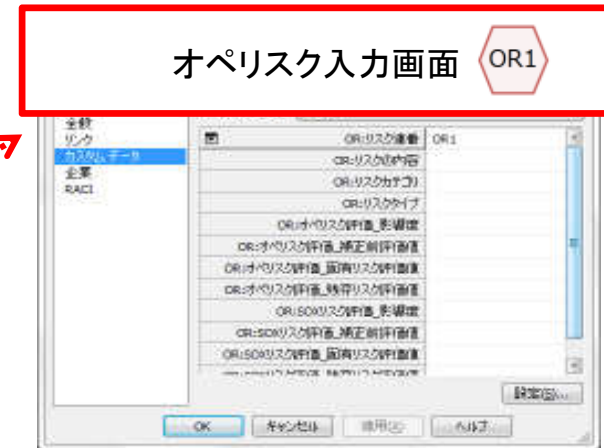
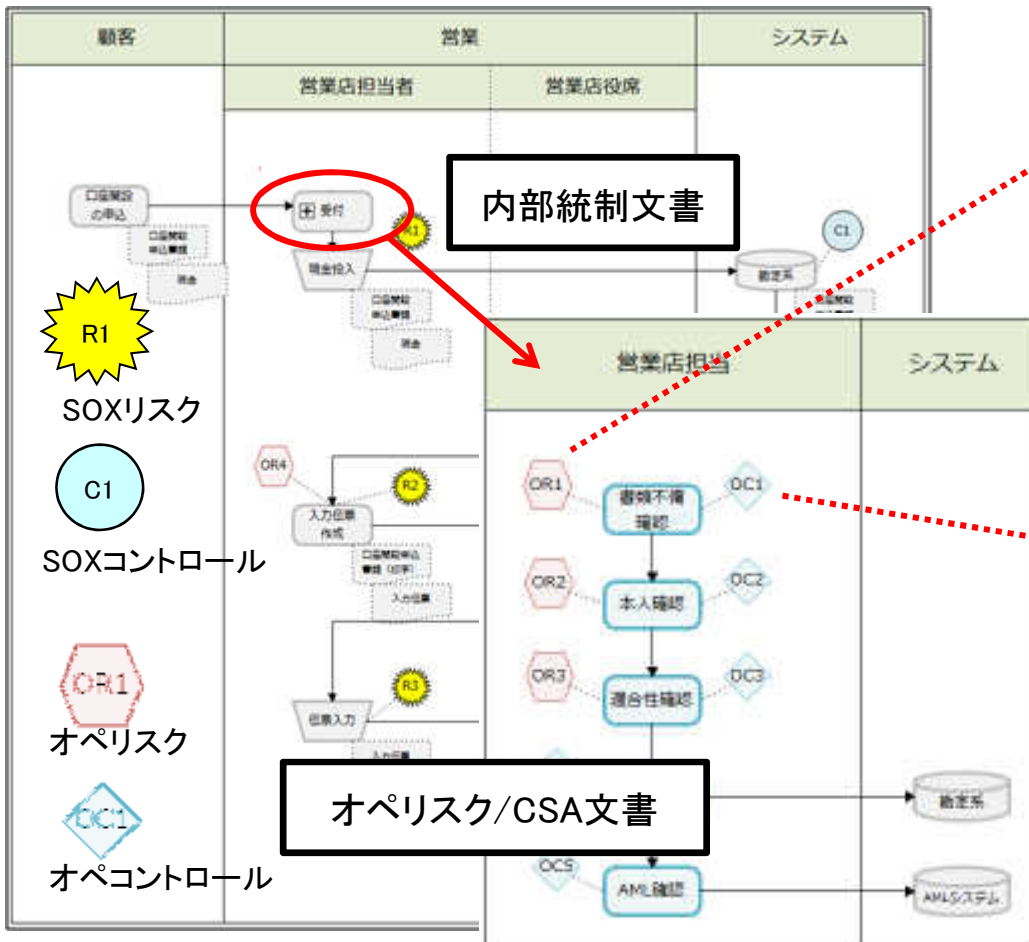
## (4-1) iGrafx 導入による効果 -リスク管理の正確性と効率性の向上- (概要)

- CSAを目的としたオペレーショナルリスク管理は、内部統制とは異なり、目的によりリスクの認識位、プロセスの粒度、統制活動の表現方法などに違いがあります。
- 既にiGrafxをSOXの文書化ツールとしてご活用されているお客様には、iGrafx を利用することで、処理ステップ毎に管理対象であるオペレーショナルリスクを文書に落とし込むことで、SOXで認識されたリスクや統制活動と関連付けすることができます。
- これによりリスクの網羅性と精度が高まります。また業務プロセス上でリスクの所在が明確になり漏れや抜けを防ぎます。

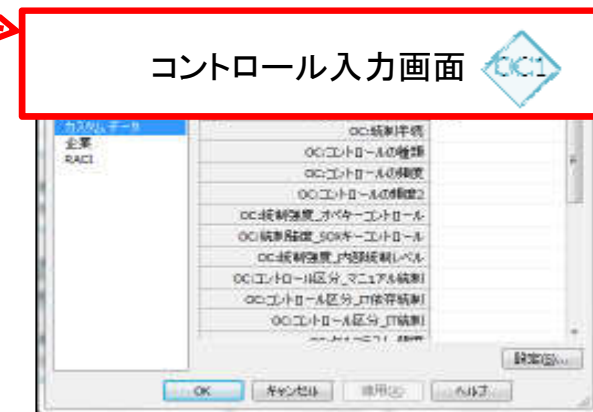


(4-2) iGrafX 導入による効果 -リスク管理の正確性と効率性の向上-  
(既存フローチャート、RCMの利用)

- iGrafX はiGrafXで作成されたSOX文書を直接呼び込み、そのリスク内容を参照できます。
- SOX文書にオペリスクを定義することや階層構造機能を利用しサブプロセス図として新たに文書を作成することで作業効率も大幅に向上します。



注) 入力画面のフォーマットはカスタマイズで対応します



### (4-3) iGrafX Tool導入による効果 –リスク管理の正確性と効率性の向上– (既存リスク・コントロール定義の利用)

- オペリスク/CSAで新規にリスク・コントロールを定義する際に既に定義済みのリスク・コントロール（内部統制含む）と同一のリスク・コントロール内容が存在する場合は、その共通の項目をオペリスク/CSA定義画面に読み込むことが可能です。
- これにより類似プロセス間でのリスク・コントロールの粒度不統一が減少し、リスクの網羅性と正確性が極めて向上する一方で、二重記載の手間を削減し、作業の効率化にも寄与します。

既存リスク一覧

フィルターでリスクを絞り込み

登録済みのリスク一覧から類似リスクを選択し新規リスクを追加

リスク一覧

市場: [市場] [すべて]

No.	市場	リスク	リスクタイプ	リスクレベル
1	市場	自己報告におけるインサイダー取引	内部不正	法律の規制・法令等違反
2	市場	同価格、同量の売りと買い、見せ玉などの相場操縦	内部不正	法律の規制・法令等違反
3	市場	損失の繰延や付利金の蓄積のために空の取引を計上する、または実際の	内部不正	債権・債権
4	市場	スポット・バックの結算による架空取引の処理、取引の偽造等	内部不正	オレシオン、相場の選別、ボ
5	市場	業者との不正の取引のある取引(売買高を上げるための回転売買、業者のボ	内部不正	法律の規制・法令等違反
6	市場	業者と結託して不当に高い価格で購入し、安い価格で売却する	内部不正	債権・債権
7	市場	特定業者に注文を集中させ、見込みキャンセルを繰り返す	内部不正	債権・債権
8	市場	取引金額、スプレッド、相対、取引、購入履歴照会等の条件確認不十分による	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
9	市場	レート根拠が不正確で、相場より高い(安い)約定をしてしまう。	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
10	市場	レート、取引単位、決済日、価格、金額を誤って発生する	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
11	市場	顧客、業者への誤ったレートの提示	事務ミス	顧客取引実行
12	市場	クレジットライン管理の誤りによるクレジットラインを超えた取引の実行	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
13	市場	ディーラー指標を誤用、または別の指標(例えばボラティリティ)を誤用する	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
14	市場	取引実行に関するリスク管理システムへの入力ミス	事務ミス	モニタリング及びレポート
15	市場	取引所取引システムのシステムダウンによる損失	システム障害	中断
16	市場	代り金・貸出金・返済金・外国債借入金・支払オプション料・手数料等を自己	内部不正	債権・債権
17	市場	約定済取引の入力漏れ等による決済の遅延による想定損益金の発生	事務ミス	取引実行、送達、プロセスの管
18	市場			

リスクを追加    キャンセル

新規追加したリスクには既存リスクの情報がコピーされる

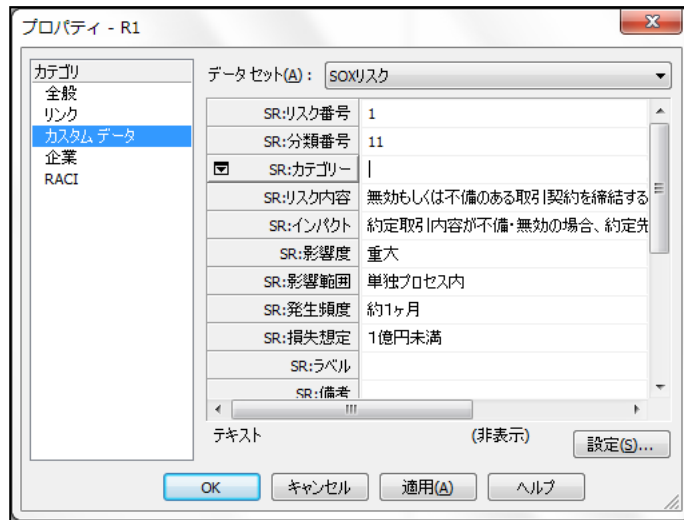


注) 既存リスク一覧はカスタマイズが必要となります

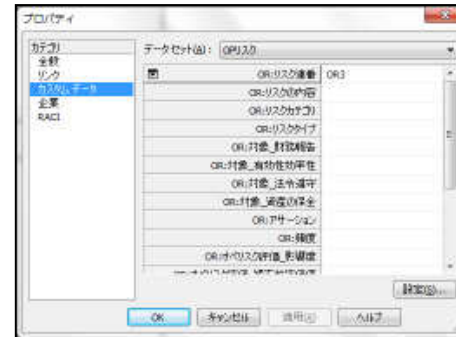


(4-4) iGrafX 導入による効果 -リスク管理の正確性と効率性の向上-  
(標準テンプレート、標準リスクシナリオセットの利用)

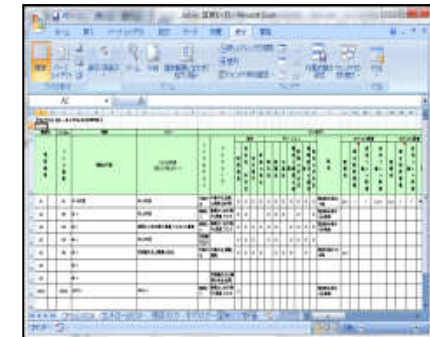
- オペリスク/CSAと内部統制間でリスクの重複を効率的に抽出し、コスト効果の高いリスク管理を実施するには、一定のノウハウが必要となります。iGrafX では監査法人の開発したリスク管理の標準テンプレートや標準リスクシナリオセットをご提供する事も可能です。



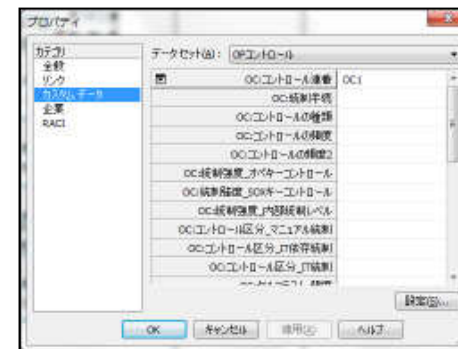
内部統制リスク情報参照画面



CSA リスク標準テンプレート



CSA RCM標準テンプレート

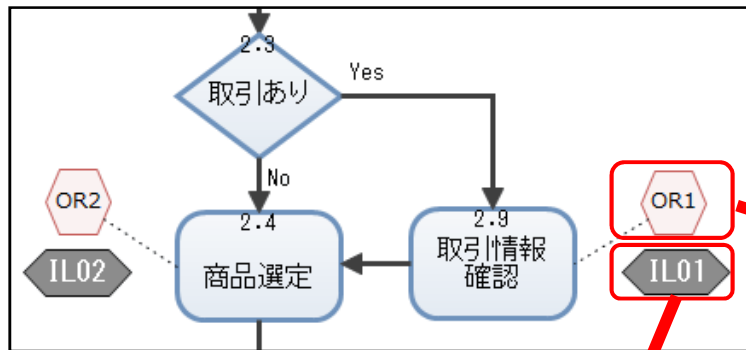


CSA コントロール標準テンプレート

CSA標準テンプレート、標準リスクシナリオセットに関してはiGrafXまでお問い合わせください。

(4-5) iGrafX 導入による効果 -リスク管理の正確性と効率性の向上-  
内部損失データの取り込み ( Option / 拡張性 )

- エクセル表なので保管された内部損失のデータは、iGrafX へ取り込み、リスクシナリオと共に業務プロセス上で確認することができます。
- 内部損失のデータを直接業務プロセス上で確認することでリスク管理の精度が向上します。
- 内部損失データの入力項目は自由に定義が可能です。



損失事象の入力画面

発生件数	損失金額	原因
合計	¥120,300 (平均: ¥4075)	
4件		取引分類: 取引上の失敗等
4件		取引分類: 処理ミス_遅延
4件		取引分類: 説明不足_価格変動商品に関するもの
4件		取引分類: 説明不足_その他に関するもの
4件		取引分類: 損失
4件		取引分類: 行外の影響によるもの
2件		取引分類: 業務熟練化
2件		取引分類: 知識不足_未習熟
4件		取引分類: 管理による管理不足
4件		取引分類: 事務の手続き_マニュアル不習熟_不精確
4件		取引分類: 内部の意思疎通齟齬
4件		取引分類: アクセス

内部損失の回数・金額・種類・原因などを区分して表示内部

CSAリスクシナリオの入力画面

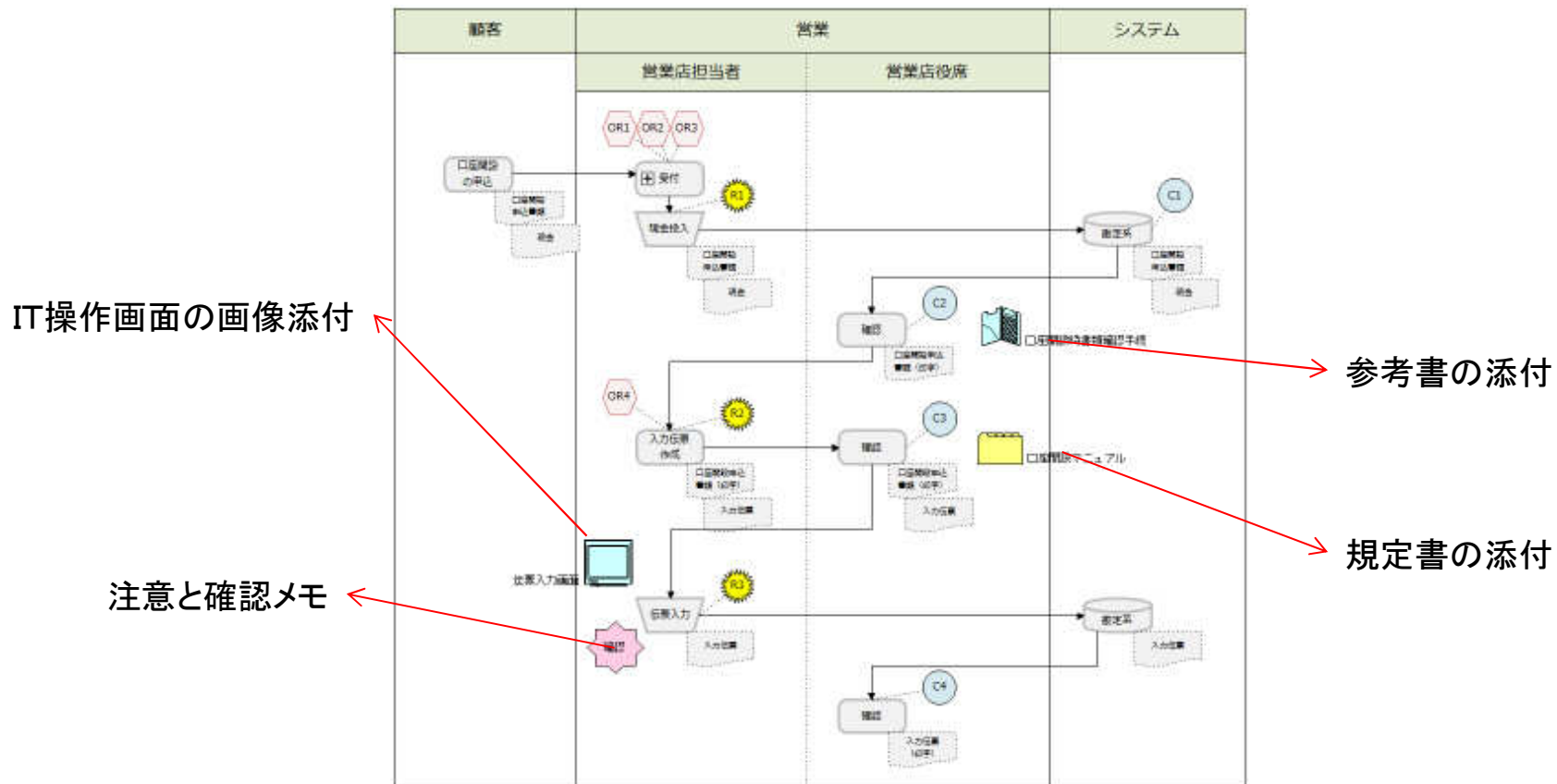
OR:リスクカテゴリ

- 事務ミス
- 内部不正
- システム障害
- 外部事務ミス及びシステム障害
- 外部不正
- 労務慣行及び職場の安全
- 有形資産に対する損傷
- 風評
- 規制変更
- 戦略

注) 入力画面のフォーマットはカスタマイズが必要となります

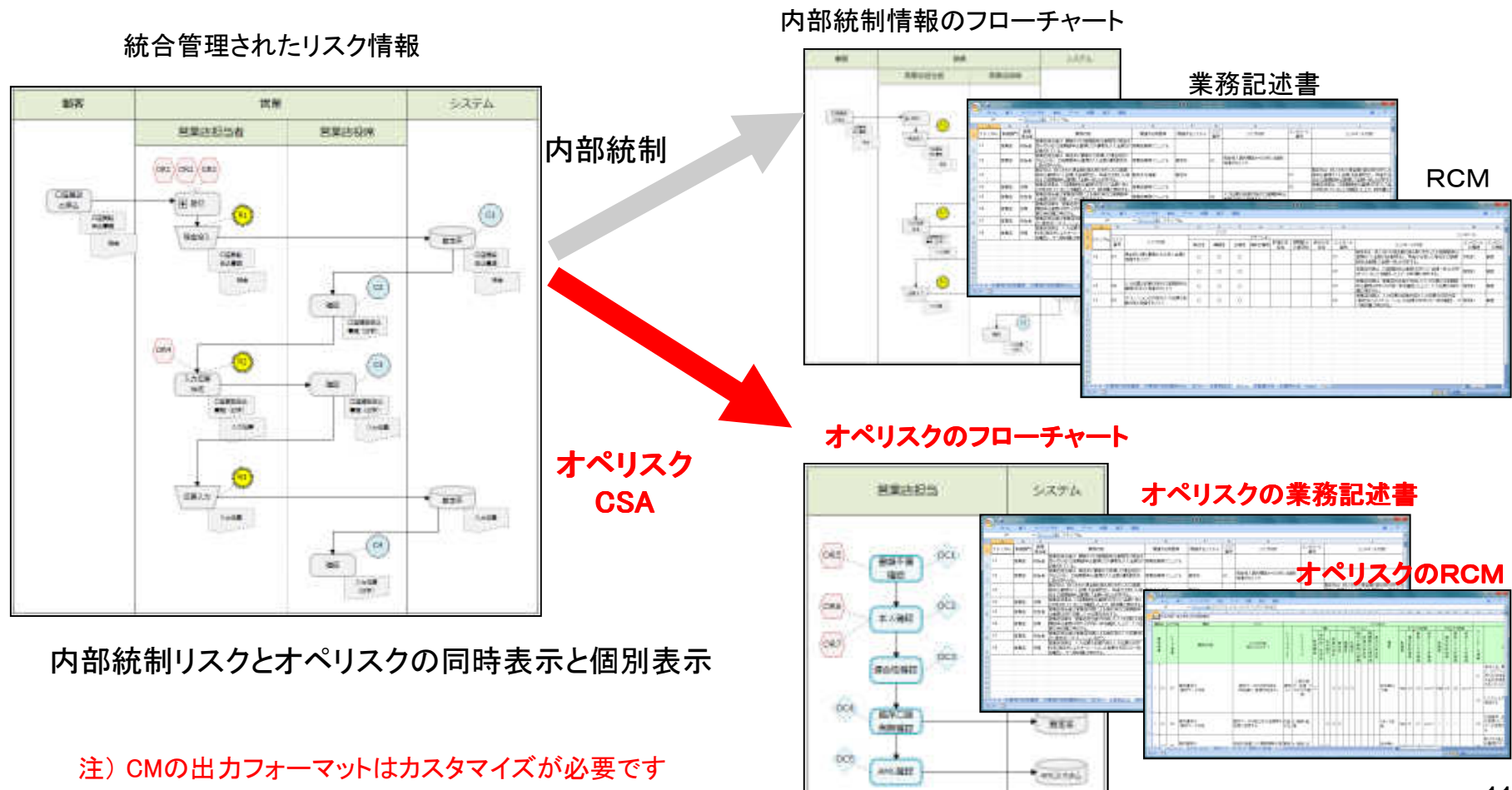
(5) iGrafx Tool導入による効果 -業務の見える化と電子マニュアル-

- iGrafx では、可視化されたオペリスク/CSA文書の業務プロセス上に規程書、帳票、マニュアルや参考書などが自由に添付することができます。
- この図表はHTML形式のWebブラウザで閲覧と共有が可能で電子マニュアルとして利用できます。
- これにより業務の標準化を進めることができ業務品質とコンプライアンスの意識が向上します。



## (6) 要件に合わせた柔軟な出力

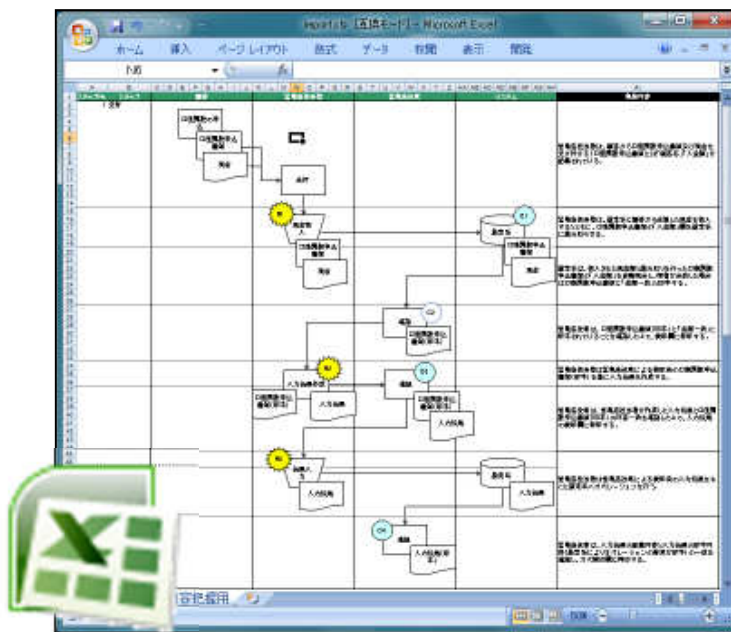
- iGrafx は統合管理されたSOX文書とオペリスク/RCSA文書から個別のフローチャート、業務記述書、RCMをそれぞれ出力することができるため、外部監査人への提出等、目的に合わせた管理を実施可能です。(統合管理されているため、統制テストの結果については相互に利用可能です。)



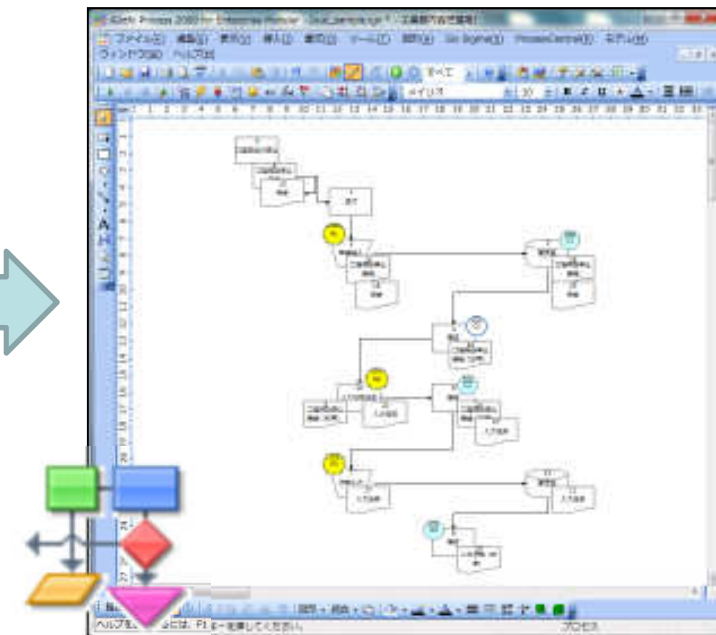
## (7-1) Excelで作成された内部統制文書の取込み (フローチャート)

- iGrafx を利用したオペリスク/CSAと内部統制の統合管理は、SOXの文書化でiGrafxを利用しているユーザーを対象としています。業務プロセス図をエクセルで作成されている場合は、エクセルからiGrafxへの変換機能をご利用できます。
- それにより、内部統制文書の管理も大幅に軽減され、統合リスクの環境が構築できます。
- iGrafxの生産性はエクセルの約10倍と評価されています。

Excelで記述された内部統制文書



iGrafxへの自動変換



注) インポートの精度はExcelの作図状態に依存する場合があります。手修正が必要な場合があります。

## (7-2) Excelで作成された内部統制文書の取込み (RCM)

- 内部統制文書のRCMも同じくエクセルで作成されているのが一般的ですが、その場合もエクセルからリスク情報をiGrafXへ変換する機能もご提供します。

Excelで記述されたRCM

リスクID	リスク内容	リスク					アサーション			コントロール番号	備考
		発生性	顕露性	正確性	権利と義務	評価の妥当性	期間区分の適切性	表示の妥当性	エントリ		
1-2	R1 現金の入金が顧客からの入金金額と相違するリスク	○	○	○					C1	指定率は、簿籍の入込中の法整備	
1-5	R2 入力伝票の記載内容が口座開設申込書(可符)と相違するリスク	○	○	○					C2	営業店毎に実施されている	
1-7	R3 オペレーションの内容が入力伝票の記載内容と相違するリスク	○	○	○					C3	営業店毎に実施されている	

iGrafXリスク定義画面へインポート

プロパティ - R1

データセット(A): SOXリスク

SR:リスク番号	1
SR:分類番号	11
SR:カテゴリ	企業
SR:リスク内容	無効もしくは不備のある取引契約を締結する
SR:インパクト	約定取引内容が不備・無効の場合、約定先
SR:影響度	重大
SR:影響範囲	単独プロセス内
SR:発生頻度	約1ヶ月
SR:損失想定	1億円未満
SR:ラベル	
SR:備考	

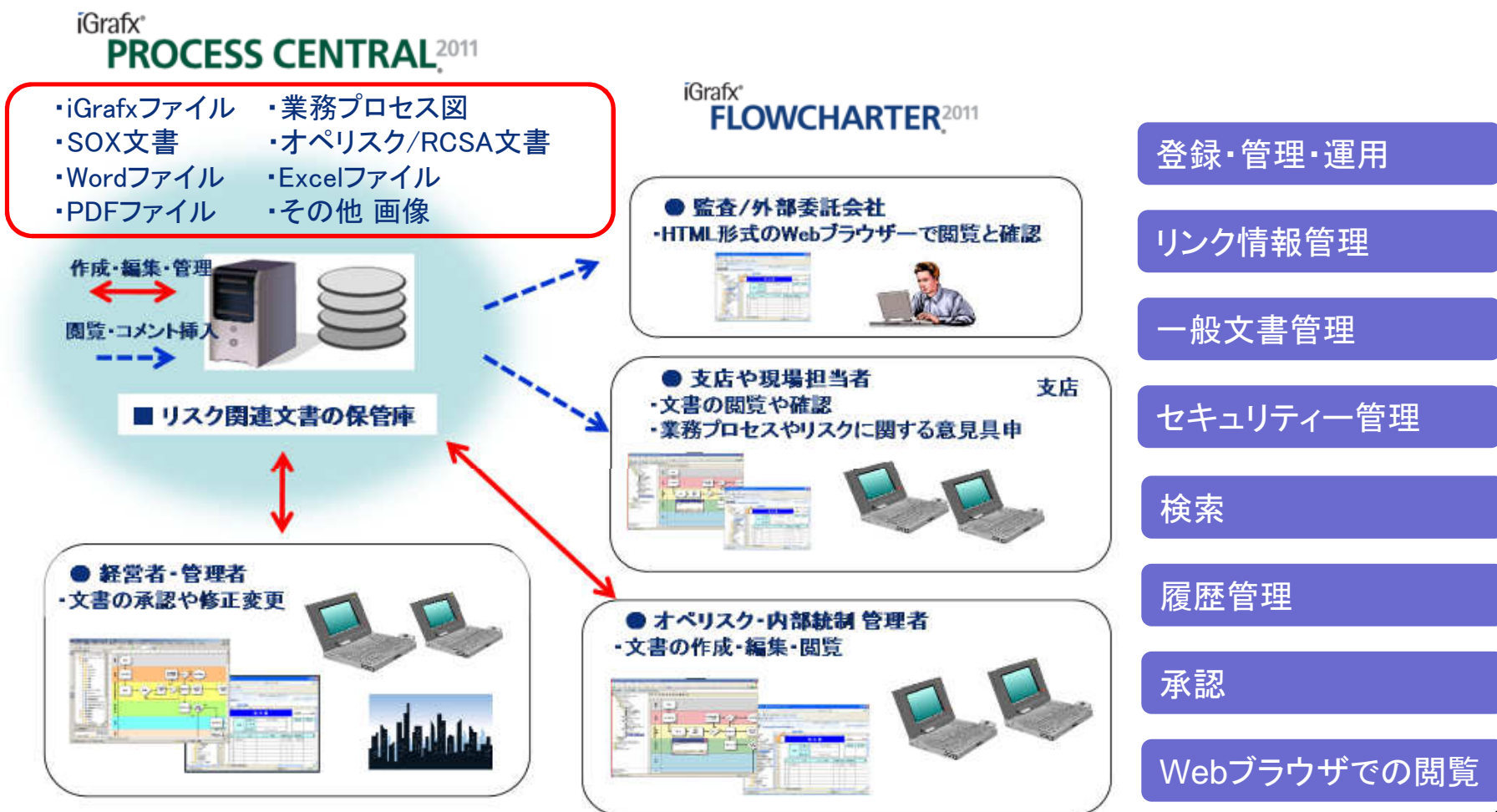
テキスト (非表示) 設定(S)...

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

注) 既に作成されたエクセルのフォーマットを確認しインポートの機能をカスタマイズが必要な場合があります

## (8) iGrafx の構成

- iGrafx では、オペリスク/CSAとSOXの一元管理サーバーiGrafx Process Centralと作成編集のためのiGrafx FlowCharter で構成され、リスクシナリオ定義画面等の設定は別途お打ち合わせのうえ決定します。



詳しい説明をご希望される場合は表紙右上に記載してあります  
「資料番号」を添えて下記までご連絡ください。

お問い合わせ先:

〒160-0022

東京都新宿区新宿 4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル 6F

株式会社アイグラフィックス 担当: 若松

電話: 03-6880-1232

Email: [igrafxjapan@igrafx.com](mailto:igrafxjapan@igrafx.com)